

〈解答〉

- ①
- | | | | | | | | |
|---|------|----|------|----|------|----|-----|
| 1 | きんこう | 2 | ぎんみ | 3 | ゆいいつ | 4 | うもう |
| 5 | ばっさい | 6 | くちよう | 7 | うなが | 8 | ただよ |
| 9 | おお | 10 | おちい | 11 | いちじる | 12 | さえぎ |

- ②
- | | | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 貴重 | 2 | 納得 | 3 | 対象 | 4 | 容易 | 5 | 単純 | 6 | 非難 |
| 7 | 築 | 8 | 招 | 9 | 拾 | 10 | 支 | 11 | 耕 | 12 | 険 |

- ③
- | | | | | | |
|----|----------------|----|-----------------|----|-------------|
| 1 | にんべん・5 | 2 | りつとう・10 | 3 | がんだれ・7 |
| 4 | くのがまえ・10 | 5 | うかんむり・8 | 6 | しかばね・5 |
| 7 | まだれ・7 | 8 | えんによる「えんにゅう」・4 | 9 | くさかんむり・7 |
| 10 | しんによる「しんにゅう」・9 | 11 | おおざと・8 | 12 | りつしんべん・7 |
| 13 | てへん・10 | 14 | あくび・10 | 15 | れんが「れつか」・11 |
| 16 | やまいだれ・5 | 17 | さら・6 | 18 | たけかんむり・12 |
| 19 | いとへん・12 | 20 | ぎようがまえ「ゆきがまえ」・9 | 21 | そうによる・8 |
| 22 | もんがまえ「かどがまえ」・6 | 23 | ふるとり・5 | 24 | おおがい・9 |
- ④
- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|
| 1 | エ | 2 | イ | 3 | ア | 4 | ウ | 5 | ウ | 6 | ア | 7 | イ | 8 | エ |
| 9 | エ | 10 | ウ | 11 | イ | 12 | ア | 13 | ア | 14 | イ | 15 | ウ | 16 | エ |
- 配点 各1点 64点満点

〈解説〉

- ① 「均衡」とは「いくつかの物事の間釣り合い」。
- ② 「味」の訓読みは「あじ」。「吟味」とは「理論・品質・内容・罪状などについて、詳しく調べ確かめること」。
- ③ 「唯」とは「ただ一つで他にはないこと」。
- ④ 「採」の訓読みは「と(る)」。
- ⑤ 「口」には「コウ」の音読みもある、訓読みは「くち」。「調」の訓読みは「しら(べる)」。「ととの(う)・ととの(える)」。
- ⑥ 「促」の音読みは「ソク」で、促成・促進・催促などの熟語がある。
- ⑦ 「漂」の音読みは「ヒョウ」で、漂流・漂着・漂白などの熟語がある。
- ⑧ 「覆」の音読みは「フク」で、覆面・転覆などの熟語がある。
- ⑨ 「陥」の音読みは「カン」で、陥落・陥没・欠陥などの熟語がある。
- ⑩ 「著」には「あらわ(す)」の訓読みもある。音読みは「チョ」で、著名・顕著・著者

などの熟語がある。

② 12 「遮」の音読みは「シャ」で、遮断などの熟語がある。

1 「貴」の訓読みは「たつと(い)、たつと(ぶ)」「とうと(い)、とうと(ぶ)」、「重」の訓読みは「おも(い)」「かさ(ねる)、かさ(なる)」。

2 「納」の訓読みは「おさ(める)、おさ(まる)」、「得」の訓読みは「え(る)、う(る)」。

3 「対照」や「対称」などの同音異義語があるので、使い分けに注意すること。

4 「易」の訓読みは「やさ(しい)」。

6 「難」の訓読みは「むずか(しい)」。

7 「築」の音読みは「チク」で、築造・構築・建築・修築などの熟語がある。

8 「招」の音読みは「ショウ」で、招待・招集などの熟語がある。

9 「拾」の音読みは「シユウ、ジュウ」で、拾得・收拾などの熟語がある。

10 「支」の音読みは「シ」で、支持・支援・支障・支離滅裂・支部・気管支・支配・支出などの熟語がある。

11 「耕」の音読みは「コウ」で、耕作・耕地・農耕などの熟語がある。

12 「険」の音読みは「ケン」で、険悪・危険・冒険・保険などの熟語がある。

③ 部首や画数は、漢和辞典で調べておくこと。

④ 漢字の主な成り立ちは、次の四種類である。

ア 象形 物の形を象なまって、その物を表したもの。

イ 指事 絵では示しにくい事柄を、抽象的な記号やその組み合わせの約束によって表したもの。

ウ 会意 二つ以上の字を組み合わせて、新しい意味を示したもの。

エ 形声 二字を組み合わせて、一方で音、他方で意味を表したもの。